

- 問1 北ヨーロッパのスカンジナビア半島沿岸に見られる、非常に複雑に入り組んだ海岸線を持つ「フィヨルド」の成り立ちについて述べた文として、正しいものはどれですか。 (2023年 山梨県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 石灰岩が二酸化炭素を含む雨水によって溶かされ、その窪地に海水が入り込んで形成された。 | 2. 氷河によって削られたU字型の深い谷に、海水が深く入り込んで形成された。 | 3. 河川が運んできた土砂が河口付近に堆積し、長い年月をかけて陸地が海へ突き出して形成された。 | 4. 河川による侵食で形成されたV字型の谷が、地盤の沈降によって海に沈んで形成された。 |
|---|--|---|---|
- 問2 フランスの首都パリは、緯度でいうと北緯50度付近に位置しています。この地理的条件に関連して、日本（北緯20度～46度付近）と比較したパリの位置や特徴の説明として正しいものを選びなさい。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------|
| 1. 赤道に近いため、日本よりも低緯度に位置している。 | 2. 日本の本州の大部分と同じ、北緯35度付近に位置している。 | 3. 日本で最も緯度が高い北海道と同程度の緯度に位置している。 | 4. 日本のどの地域よりも高い緯度に位置している。 |
|-----------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------|
- 問3 ある国の気候と農業について説明した次の文章のうち、ロシアに該当するものはどれですか。なお、この国では1月の平均気温がマイナス10度を下回り、年間の降水量が約587mmという冷帯（亜寒帯）特有の内陸性気候が見られます。 (2016年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 広大な国土に多様な気候帯を持ち、適地適作の考え方に基づいて小麦、米、とうもろこしをバランスよく大量に生産している。 | 2. 季節風（モンスーン）の影響を強く受け、高温多湿な気候を利用した稲作が国の全域で盛んに行われている。 | 3. 広大な冷帯の土地を活用し、耐寒性のある小麦の生産が盛んだが、米やとうもろこしの生産は極めて少ない。 | 4. 熱帯に位置し、乾季と雨季のはっきりした気候を利用して、自給用の雑穀や油ヤシの栽培が行われている。 |
|--|--|--|---|
- 問4 EU（欧州連合）には、デンマークなどの古くからの加盟国と、2004年以降に加盟した東ヨーロッパやバルト海沿岸の国々が混在しています。これら加盟国間で見られる「一人あたりの国民総所得」の特徴について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 後から加盟した国々は、古くからの加盟国に比べて一人あたりの国民総所得は低いが、その後の経済成長による数値の増加率は高い傾向にある。 | 2. 古くからの加盟国は、後から加盟した国々よりも経済成長にともなう所得の増加率が高いため、EU内の経済格差は拡大し続けている。 | 3. 後から加盟した国々は、古くからの加盟国に比べて一人あたりの国民総所得が低いだけでなく、加盟後の経済成長も停滞し、数値が減少している。 | 4. 後から加盟した国々は、古くからの加盟国よりも一人あたりの国民総所得が高く、さらに経済成長による数値の増加率も極めて高い。 |
|--|--|---|---|
- 問5 北アメリカ大陸の東岸から大西洋を横断するように北東へ流れ、イギリスやスカンジナビア半島の沿岸に至る、ヨーロッパ北西部の気候に大きな影響を与える暖流の名称を答えなさい。 (2021年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|-----------|----------|-----------|
| 1. カリフォルニア海流 | 2. 北大西洋海流 | 3. リマン海流 | 4. メキシコ湾流 |
|--------------|-----------|----------|-----------|
- 問6 北欧のノルウェー周辺の海域は、浅くて平らな海底地形である大陸棚が広がっており、原油や天然ガスなどの資源が豊富に採掘されています。採掘されたこれらのエネルギー資源を、陸上の消費地まで安定して輸送するために用いられている施設を何といいますか。 (2018年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|--------|-------|
| 1. パイプライン | 2. 高速鉄道 | 3. 送電網 | 4. 運河 |
|-----------|---------|--------|-------|
- 問7 ヨーロッパ連合（EU）の加盟国のうち、フランスなど多くの国々が共通通貨「ユーロ」を導入している目的や利点として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 加盟国の財政政策を完全に一つに統合し、各国が独自の予算を組む必要をなくすため | 2. 加盟国がそれぞれ独自の判断で通貨の価値を自由に変更し、輸出を有利に進められるようにするため | 3. ヨーロッパ以外の地域からの輸入品に対して共通の関税をかけ、域外との貿易を完全に遮断するため | 4. 国境を越えた取引における両替の手間や為替変動のリスクをなくし、経済活動を活性化させるため |
|---|--|--|---|
- 問8 ヨーロッパ南部の農業において、夏にオリーブやぶどうなどの栽培が盛んである一方、冬に小麦の栽培が行われる理由として正しいものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 夏の降水量が極端に少なくなるため乾燥に強い果樹を選び、冬の降水を利用して穀物を育てるため。 | 2. 偏西風の影響で夏に多雨となるため、水分を多く必要とする果樹の成長を優先させるため。 | 3. 家畜の飼料となる穀物と、人間が消費する果実を同じ土地で時期をずらして生産し、地力を維持するため。 | 4. 年間を通じて降水量が平均しているため、土地を休ませることなく効率的に作物を作り分けるため。 |
|--|--|---|--|
- 問9 日本とフランスの産業構造を比較すると、いずれも第3次産業の割合が7割を超えていますが、日本の第2次産業の割合は約24パーセントとなっています。この「第2次産業」の定義と、それに含まれる主要な業種に関する記述として、適切なものはどれですか。 (2025年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 無形のサービスや流通を提供する産業であり、卸売業や情報通信業がこれに該当する。 | 2. 公共性の高いインフラを整備する産業であり、公務や教育がこれに該当する。 | 3. 自然の恩恵を直接受けて生産を行う産業であり、農業や漁業がこれに該当する。 | 4. 原材料を加工して新たな価値を生み出す産業であり、建設業や製造業がこれに該当する。 |
|--|--|---|---|
- 問10 ヨーロッパの国々の位置関係について述べた次の記述のうち、バルカン半島の南端に位置し、エーゲ海や地中海に面している国として最も適切なものはどれですか。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|------------------------------------|--|
| 1. 北ヨーロッパに位置し、スカンディナヴィア半島の大半を占めるスウェーデン | 2. 南ヨーロッパに位置し、バルカン半島の南端にあり多くの島々を保有するギリシャ | 3. 西ヨーロッパに位置し、大西洋と地中海の両方に面しているフランス | 4. 南ヨーロッパに位置し、地中海に向かって突き出た形状のイタリア半島にあるイタリア |
|--|--|------------------------------------|--|
- 問11 ヨーロッパで国境を越えた結びつきを強め、加盟国間での関税撤廃や人々の移動の自由化を実現してきた地域統合の名称として最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------|-------------------------|----------------|---------------------|
| 1. MERCOSUR（南米共同市場） | 2. USMCA（米国・メキシコ・カナダ協定） | 3. EU（ヨーロッパ連合） | 4. ASEAN（東南アジア諸国連合） |
|---------------------|-------------------------|----------------|---------------------|
- 問12 ヨーロッパ統合の展開において、2020年に生じた大きな変化と、域内で生じている課題の組み合わせとして最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 1. イギリスのEU離脱と、加盟国拡大による経済格差の拡大 | 2. ドイツのEU離脱と、移動の自由化による労働力不足 | 3. フランスのEU離脱と、加盟国間での関税復活による貿易停滞 | 4. イタリアのEU離脱と、西ヨーロッパへの工場集中による偏在 |
|-------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|---------------------------------|